

# 平成28年度一番茶萌芽状況報告

滋賀県農業技術振興センター茶業指導所

## 1. 萌芽期

本年	前年	前5か年
4月 7日	4月 3日	4月 9日

## 2. 生育状況

項目	年次	4月17日	4月22日	4月27日	5月2日	5月7日
新芽長 (cm)	本年	1.01 ± 0.42	1.87 ± 0.65	3.92 ± 1.06	5.87 ± 1.44	8.00 ± 2.28
	前年	1.10 ± 0.39	1.85 ± 0.67	3.81 ± 1.21	6.21 ± 1.94	
	前5か年	0.46 ± 0.19	0.91 ± 0.36	1.89 ± 0.69	3.22 ± 1.11	
新葉数 (枚)	本年	0.30 ± 0.51	0.96 ± 0.67	2.18 ± 0.69	2.70 ± 0.58	3.56 ± 0.58
	前年	0.40 ± 0.50	1.30 ± 0.55	2.43 ± 0.68	3.62 ± 0.61	
	前5か年	0.15 ± 0.23	0.59 ± 0.40	1.34 ± 0.60	2.35 ± 0.69	

## 3. 気象表

項目・年次 月・旬	平均気温 (°C)			最高気温 (°C)			最低気温 (°C)		
	本年	前年	平年	本年	前年	平年	本年	前年	平年
1月 上旬	5.5	2.0	2.7	11.9	6.4	7.8	0.2	-1.2	-1.4
	2.6	2.8	2.5	8.2	7.2	7.5	-1.7	-0.8	-1.6
	2.4	3.6	2.3	7.1	7.6	7.3	-1.9	0.1	-1.8
2月 上旬	2.6	2.1	2.1	8.6	7.1	7.5	-2.5	-1.2	-2.4
	5.6	3.3	2.8	11.4	8.0	8.1	0.7	-0.6	-1.5
	4.6	6.3	4.3	10.2	11.1	10.0	-0.6	2.0	-0.5
3月 上旬	8.0	5.1	4.8	13.7	9.9	10.4	3.3	1.2	0.0
	6.9	7.7	6.2	12.8	13.8	12.3	1.3	2.1	0.7
	7.9	8.3	7.5	14.9	15.8	13.6	1.1	1.8	1.8
4月 上旬	13.2	10.9	9.7	18.5	14.5	16.2	8.1	7.6	3.8
	12.4	12.3	11.8	18.7	17.5	18.4	5.7	7.1	5.9
	14.8	16.3	13.6	20.3	23.8	20.0	9.5	9.3	7.7
5月 上旬	16.8	18.1	15.9	22.9	24.4	22.3	11.4	12.1	10.2

項目・年次 月・旬	降水量 (mm)			降水日数 (日)		
	本年	前年	平年	本年	前年	平年
1月 上旬	3.0	30.5	18.3	2	6	3.9
	17.0	38.0	21.2	3	5	4.1
	42.0	44.5	23.4	2	6	4.5
2月 上旬	2.5	15.0	19.9	1	5	4.7
	58.0	15.5	27.9	5	5	4.3
	13.0	20.0	25.4	2	4	3.9
3月 上旬	32.5	85.0	32.3	2	7	4.8
	36.0	54.5	34.3	4	4	4.0
	0.0	11.5	40.1	0	4	5.1
4月 上旬	79.0	61.0	34.1	4	8	3.8
	19.0	49.0	30.7	3	7	4.1
	53.0	0.5	31.7	6	1	3.6
5月 上旬	34.5	7.5	40.3	5	1	3.5

終霜日 本年 4月12日 (最低気温 -0.7°C) 前年 3月27日 (最低気温 -1.8°C)

最低極温 本年 -6.4°C (1月26日) 前年 -5.5°C (1月 2日)

#### 4. 供試園の条件

品 種	定植年次	栽植密度	樹高	株張り	その他
やぶきた	昭和31年3月 (61年生)	180cm×30cm	95cm	157cm	防霜ファン設置圃場

年間施肥成分量 (kg/10a) N:64.0 P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>:14.0 K<sub>2</sub>O:20.6

#### 5. 概況

##### 1) 気象

1月上旬から5月上旬にかけての平均気温は、平年並～かなり高く推移した。特に、1月上旬（平年差+2.8℃）、2月中旬（平年差+2.8℃）、3月上旬（平年差+3.2℃）、および4月上旬（平年差+3.5℃）が平年を2℃以上上回り高かった。一方、期間中の最低気温は、3月上旬以降、3月下旬を除いて高い旬が多かった。また、期間中は旬毎の上下変動が大きかった。

期間中の降水量は、1月上旬（平年比16%）、2月上旬（平年比12.6%）および3月下旬（平年比0%）でかなり少なかったが、それ以外の期間では平年並～多く推移し、総降水量は389.5mmと平年並（379.7mm）であった。

##### 2) 生育

本年の一番茶萌芽期は、3月中下旬の平均気温が前年並ではないものの、平年並～かなり高く推移したことから、前年より4日遅く、前5か年平均より2日早い4月7日となった。

萌芽期以降の生育は、4月中旬～下旬にかけての一時的な冷え込みでやや緩慢となることがあったものの、概ね気温が高く推移したため、前5か年平均に比べて2～3日早く推移した。

# 平成28年度一番茶実収報告

滋賀県農業技術振興センター茶業指導所

## 1. 摘採日

本 年	前 年	前5か年
5月 9日	5月 5日	5月 11日

## 2. 生葉収量 (kg/10a)

本 年		前 年		前5か年	
収 量	指数	収 量	指数	収 量	指数
715 ± 51	155	470 ± 50	102	460 ± 34	100

## 3. 百芽重 (g)

本 年		前 年		前5か年	
重 量	指数	重 量	指数	重 量	指数
54.1 ± 3.4	158	45.6 ± 2.8	133	34.2 ± 1.9	100

## 4. 新芽数 (本/m<sup>2</sup>)

本 年		前 年		前5か年	
芽 数	指数	芽 数	指数	芽 数	指数
1204 ± 103	87	873 ± 127	63	1377 ± 105	100

## 5. 出開度 (%)

本 年	前 年	前5か年
55	68	64

## 6. 概況

### 1) 生育

本年の一番茶摘採日は、萌芽期が前5か年平均より2日早く、新芽の生育もほぼ順調であったことから、前5か年平均より2日早い5月9日となった。また、萌芽期から摘採日までの日数は32日と前5か年平均と同じであった。

本年の摘芽状況は、百芽重が前5か年平均の158%と芽重型となり、新芽数が同87%と芽重型としては芽数が多かったことから、生葉収量は前5か年平均を大きく上回る715kg/10aとなった。

### 2) 県内の状況

摘採始めは平坦地で5月1日頃、山間地で5月7日頃と平年より5日程度早かった。また、収量は芽数が少ない傾向となったため、やや減収となった。

### 3) 病害虫の発生

チャノコカクモンハマキの越冬成虫の飛来が平年に比べ早く、その発生量が多かった。一方、カンザワハダニ、チャノホソガは平年に比べ発生量が少なかった。